

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



国スポ神崎市開催競技まであと **58** 日（8月1日現在）

国民スポーツ大会が佐賀県で開催されるのは、昭和51年以来48年ぶりです。神崎市では剣道、ハンドボールの2競技が開催され、天皇杯・皇后杯、総合優勝を目指して都道府県同士の熱い戦いが繰り広げられます。ぜひ会場へ足を運んで、一緒に選手たちを応援しましょう!!

今回は、大会に先立ち行われたデモンストレーションスポーツの結果や、大会の成功に向けて市内で行われている取り組みをご紹介します。

7/7 みんなで楽しむフライングディスク

赤トンボが飛び交う日の隈公園グラウンドでデモンストレーションスポーツであるフライングディスク競技の「アルティメット」の大会が開催されました。小学生から60代までの男女混合10チームがリーグ戦を行い、上位4チームがトーナメント戦を戦いました。競技の魅力はディスクひとつあれば、みんなで楽しめること。風を味方につけ、ディスクを投げて、受けて、ジャンプして、パスを繋ぎながら、広いコート内を走り回りました。



7/14 いごてだま お手玉でマス内狙う

神崎中央公園体育館でデモンストレーションスポーツ「いごてだま競技」が開かれ、約80人が参加し、熱戦を繰り広げました。

いごてだまは、2チームが5×5マスのシートに向かって、交互にお手玉をマス内に投げ入れ、獲得したポイントで競います。1チーム5人で編成し、市内外から地域や職場の仲間らでつくる16チームが出場。ビンゴとなればボーナスポイントが入り、お手玉が枠内に入ると「やったー」と歓声が上がるなど、盛り上がりしました。



お問い合わせ SAGA2024国民スポーツ大会神崎市実行委員会事務局 ☎37-1331

よらんね神埼による「おてだま作り」のボランティア活動

6月25日、「住民同士で支え合う地域づくり」を合言葉に活動している市民活動団体「よらんね神埼」が、デモンストラションスポーツの「いごてだま競技」で使用するおてだま作りのボランティア活動を行いました。参加者からは「仲間と楽しく作ることができて良かった」「思っていたより生地が厚かったので工夫が必要だった」などの声も聞こえ、手際よく作製していました。完成したおてだまは7月に開催された競技の中で使用されました。



きれいなまちで歓迎を 70日前でクリーンアップ活動

SAGA2024国スポで訪れる選手や応援者をきれいなまちで迎えようと、神埼高校の生徒と市国スポ実行委員会の約70人が「クリーンアッププロジェクトin KANZAKI」と銘打って清掃活動を行いました。

市内で行われる剣道競技とハンドボール競技の準備は着々と進行中。この日は剣道競技開始まで70日ということで、行われました。朝から強い日差しが照りつける中、高校生らは5班に分かれ神埼駅からハンドボール競技会場となる神埼高校までの沿道や神埼町中心部へ。約1時間かけて飲料の缶やペットボトル、ビニールごみなどを拾い集め、市役所前で分別しました。



市内企業でふるまい品を準備中です！

大会では、郷土料理や地元食材をふんだんに使った料理、特産品を「ふるまい品」として提供し、魅力を余すことなく発信していきます！

大会で選手・監督などの大会関係者、一般観覧者に喜んでもらえるように、準備を進めています！



くわびしぼうろ

▲市特産品の神埼桑菱茶を練り込みました。中は綺麗な緑色で、しっとりとした食感に抹茶のような味わいです。



桑菱フィナンシェ

▲桑菱茶を自家製焦がしバターたっぷりの米粉フィナンシェに練り込みました。完全グルテンフリーの甘さ控えめな米粉の桑菱フィナンシェです。



わに 主仁芋スティック

▲神埼町竹原地区の有志でつくる「わにっ娘夢倶楽部」が地元で生産した紅はるかを使用した芋スティックです。



ぶっかけそうめん

▲約400年の歴史ある「神埼そうめん」は、機械製麺で一番古い産地です。油を使用しないため小麦の風味を感じやすいのが特徴です。



6/27

全国ヤングクラブバレーボール大会佐賀県予選 “MIYACHI WIN” 優勝で全国へ

市内を拠点に活動するバレーボールクラブ “MIYACHI WIN” が、6月16日に行われた第27回全国ヤングクラブバレーボール大会佐賀県予選で優勝し、市長を表敬訪問しました。

宮地菊枝監督は県予選の決勝について「最後は精神力だった」と大会を振り返り、主将の杠樹璃さん（千代田中3年）は全国大会に向けて「優勝して笑顔で終わりたい」と話しました。

市長は「全国大会出場は良い経験になる。優勝を目指して頑張してほしい」とエールを送りました。



7/2

上手にできたよ！ 西郷小児童が尾崎人形づくり

西郷小学校4年生が、地元に伝わる「尾崎人形」の制作に挑みました。尾崎人形継承者の高柳政廣さんと城島正樹さんの指導で歴史や作り方を学び、実際に成形や絵付けをして仕上げました。

「ふるさと学習」として、今回は絵付けをして完成を目指す授業。6月に成形していた「笛」と「鈴」に彩色しました。児童らは「きれいにできてよかった」「予想より上手にできた」と喜びの声を上げました。

高柳さんは「毎年どんなものができるか楽しみ。今回も楽しそうに取り組んでもらえてうれしい」と話しました。



7/4

田植え体験 神埼小5年生 米作り学ぶ

神埼町内の営農グループ「なかよしクラブ」の協力のもと、浄光寺（神埼町四丁目）所有の田地で、神埼小学校5年生が田植を体験しました。

これは総合的な学習の時間で、米作りに携わる人たちの苦労や工夫、喜びについて考え、食育や米作りを学んでいるものです。

参加した児童は「田んぼのぬかるみに足をとられ、思うように作業が出来なかった」「農家の皆さんの大変さがわかった」などと感想を話してくれました。



7/5

夏のシーズン前に脊振山 山開き 登山客らの安全を祈願

本格的な夏の観光シーズンを前に、脊振神社で神埼市観光協会主催による山開きの神事が行われました。

当日は市や地元の関係者など約30人が参列し、脊振山一帯を訪れる人たちの安全を祈願して、神事が執り行われました。

脊振山は標高1,054mで、山頂からの眺望も素晴らしく、初心者でも楽しく登れる山として人気です。自然を感じながらゆったり散策してみませんか。



7/13 馬場川親水公園 清掃活動や生き物体験会も

神崎市水の郷再生市民会議主催で、馬場川親水公園の清掃活動を実施しました。当日は、神埼建設業協会など30人で河川内の水草の除草を行いました。

グリーン・ネクサス

また、佐賀大学の生き物サークル「Green-Nexus」の生き物体験会が行われ、市内の川で捕れた珍しい魚に子どもたちは興味津々でした。



7/14 黒津厳島神社の祇園祭 ステージや出店で賑わい

黒津地区の黒津集落センターで黒津厳島神社祇園祭が開かれました。あいにくの雨でしたが約200人が集まり、梅雨を吹き飛ばすような賑わいでした。

恒例の野外ステージでは、子どもや大人計15組が歌や踊りを披露しました。集落センターで活動している百歳体操のメンバーで「これから音頭」を披露した中村朱実さんは「出番があるので活動に張り合いがでます」と笑顔。

実行委員長の西村蔵義さんは「雨の中たくさんの参加があり、出店の協力も得られてよかった。地元の大事な祭りを継続していきたい」と語りました。



7/21 ケロポンズコンサート盛況 音楽や体操に親子の歓声響く

子どもたちに人気の2人組の音楽ユニット「ケロポンズ」のコンサートが中央公民館で開かれ、観客と一体となった楽しいステージを繰り広げました。会場には満席の約800人の親子が詰めかけ、笑顔が溢れました。

ケロポンズは子ども向けの音楽と体操、クイズで観客と一体となったステージで人気があり、オリジナル曲「エビカニクス」がヒット。電子ピアノやアコーディオンの演奏に合わせて親子が手拍子をしながら体を動かすなどして、歓声が会場いっぱいに響いていました。



7/23 高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会 “神埼球友クラブ”が初Vで県代表に

神埼小学校の児童で構成された少年野球チーム“神埼球友クラブ”が、高円宮賜杯第44回全日本学童軟式野球大会佐賀県大会で初優勝し、8月に開催される全国大会への出場を市長に報告しました。

キャプテンの田中翔真さんは「チームのテーマである“超攻撃野球”で優勝を目指したい」と目標を語り、田中龍二監督は「まずは初戦突破し、一戦一戦勝ち上がりたい」と意気込みを話しました。

市長は「最後まで自分たちのプレーをして、ぜひ日本一になってほしい」と激励しました。

